

5

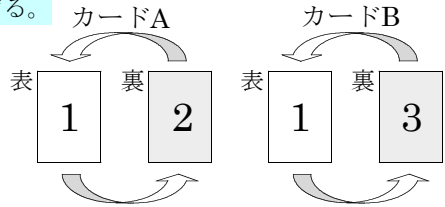
1から6までの目がある1個のさいころを投げる。

1か2ならば、カードAだけを裏返す

3か4ならば、カードBだけを裏返す

5ならば、カードAとBの両方を裏返す

6ならば、どちらのカードもそのままにする。



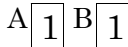
(ア) 2枚のカードA, Bを1と書かれた面が表になるように置いて、操作を1回行ったとき、2枚のカードの表になった面に書かれた数の和が4になる確率を求めなさい。

全部で6通り

	1	2	3	4	5	6
A	2	2	1	1	2	1
B	1	1	3	3	3	1
			和が4	和が4		

$$(イ) \frac{2}{6} = \frac{1}{3}$$

(イ) 2枚のカードA, Bを1と書かれた面が表になるように置いて、操作を続けて2回行ったとき、2枚のカードの表になった面に書かれた数の和が奇数になる確率を求めなさい。ただし、1回目の操作を行った後、2枚のカードは最初の状態にもどさないで、続けて2回目の操作を行うものとする。



6 × 6 = 全部で36通り

一回目の操作
二回目の操作

	1	2	3	4	5	6
一回目の操作	A 2 B 1	A 2 B 1	A 1 B 3	A 1 B 3	A 2 B 3	A 1 B 1
二回目の操作	A 1 B 1	A 1 B 1	A 2 B 3	A 2 B 3	A 1 B 3	A 2 B 1
二回目の操作	A 1 B 1	A 1 B 1	A 2 B 3	A 2 B 3	A 1 B 3	A 2 B 1
二回目の操作	A 2 B 3	A 2 B 3	A 1 B 1	A 1 B 1	A 2 B 1	A 1 B 3
二回目の操作	A 2 B 3	A 2 B 3	A 1 B 1	A 1 B 1	A 2 B 1	A 1 B 3
二回目の操作	A 1 B 3	A 1 B 3	A 2 B 1	A 2 B 1	A 1 B 1	A 2 B 3
二回目の操作	A 2 B 1	A 2 B 1	A 1 B 3	A 1 B 3	A 2 B 3	A 1 B 1

$$(イ) \frac{18}{36} = \frac{1}{2}$$